

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区年度テーマ

『よりそう奉仕・ロータリー』

今月は『水と衛生月間』

3 | Vo.9
2025国際ロータリー第2620地区
2024-25年度 ガバナー

小泉 久司 (甲府西 RC)

皆さん、こんにちは。

2月は山梨第1グループおよび静岡第2グループIM、周年、地区危機管理セミナー、地区補助金セミナー、第4回地区戦略計画委員会・諮問委員会、次期地区ラーニング委員会、ローターアクト年次大会などがございました。さまざまな場面で学びの多いひと月でございました。

さて、3月に入りロータリーの年度も残すところ4カ月となりました。今年度も多くのクラブにクラブ優秀賞を受賞していただきたいと思います。ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ（提唱クラブはぜひご確認ください）のクラブ優秀賞がございましたので、詳細を下記リンクよりぜひご確認ください。

クラブ優秀賞とは？

各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。受賞要件である目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。



3月は水と衛生月間

さて、3月は水と衛生月間です。

3月22日は「世界水の日」。世界水の日は、1992年12月の国際連合総会で制定されました。持続可能な開発目標（SDGs）の目標6は、2030年までに誰もが安全に管理された「水と衛生」を手に入れる目標があります。

日本では水道法第4条に基づいて厚生労働省令により水道水質基準が定められており、全国一律に施行されています。日本は水に恵まれており、水質管理技術もあり水道水が飲める国ですが、水道水をそのまま飲める国は、196カ国中、日本を含め世界でたった12カ国です。

水道の水をそのまま飲める国

日本
オーストリア
アイスランド
アイルランド
フィンランド
ノルウェー
スウェーデン
オランダ
セルビア
モンテネグロ
デンマーク
ニュージーランド



安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利ですが、世界へ目を向けますと、きれいな水を利用できない地域の人々が多くいらっしゃいます。また、子どもたちが水汲みなどの労働によって学校に通えないといった状況もあります。

国際ロータリーは重点事項に「水と衛生」を掲げています。安全な水と衛生設備をすべての人が利用できるよう、ロータリーが掲げる目標年は2030年。多くのクラブが「水と衛生」に貢献するさまざまなプログラムを展開しています。ロータリーショーケースからも活動のヒントが得られますので、ぜひご活用ください。“THE MAGIC OF ROTARY”を実現していけるよう、力を合わせてまいりましょう。

こちらも
チェック！



RIの水と衛生への新たなアプローチ

国際ロータリー第 2620 地区

山梨第 1 グループ インターシティーミーティング

2025年2月1日（土）、ベルクラシック甲府におきまして山梨第1グループの渡邊隆ガバナー補佐主催者として国際ロータリー第2620地区山梨第1グループのインターシティーミーティングが開催されました。

ホストクラブ甲府ロータリークラブ、雨宮俊彦実行委員長の下、山梨第1グループの7ロータリークラブから多くの会員が出席され、さらに講師として慶応義塾大学名誉教授で元防衛大学校校長の國分良成様を迎え、多くの会員の皆さんと時間を共有いたしました。

渡邊隆ガバナー補佐より、「ロータリーは社会の変化とともに、若者の考えを吸収しながら、将来を目指し、『10年後のロータリー』を想像してみませんか？」とのお話がありました。それに対し山梨第1グループの7クラブの会長から「10年後のロータリー」についてそれぞれお話を聞かせていただきました。

基調講演では國分良成様より「日本の安全保障と防衛大学校」と題した講演を拝聴いたしました。その中でリーダーとは「人の上に立つのではなく、人の前に立ち、率先垂範が大事だ」とお話しされ、この言葉にはロータリアンのリーダーシップ像を感じました。

その後、会場を移動して懇親会の開催となりました。アトラクションとして山梨県立第一高等学校 ア・カペラ部の歌唱パフォーマンスが披露されました。

とても充実したインターシティーミーティングとなりました。最後に次期ガバナー補佐の勝俣重信様（富士吉田ロータリークラブ）、次年度ホストクラブ会長のご挨拶と続き、IMを終了いたしました。

渡邊隆ガバナー補佐、IM開催大変お疲れ様でした。



国際ロータリー第 2620 地区

静岡第 2 グループ インターシティーミーティング

2025年2月16日（日）、沼津市のプラサヴェルデを会場として静岡第2グループ渡邊富夫ガバナー補佐主催の下、国際ロータリー第2620地区静岡第2グループのインターシティーミーティングが開催されました。

長泉ロータリークラブがホストクラブとして、グループ内12のロータリークラブから多くのロータリアンに参加いただきました。また、ご来賓として長泉町長の池田修様、公益財団法人米山梅吉記念館の松村友吉理事長、記念講演講師としては静岡県立静岡がんセンター副院長の寺島雅典先生がご出席くださいました。

渡邊富夫ガバナー補佐よりIMのテーマが「米山梅吉記念館とともに」とされ、第2グループ内に立地する米山梅吉記念館の存在意義の共有、そして米山梅吉翁の社会貢献の顕彰と社会奉仕の理解を図り、永続的な支援を目標にグループ内12RCの会員が一堂に会した有意義なIMにしたいとのお話がありました。その後、旧梅吉記念館の歴史と題してスライドショーを見るとともに、記念館への寄付も行われました。

記念講演では静岡がんセンター副院長の寺島雅典先生からがんの発症から手術、予防についてのお話を聞くことができ、とても勉強になりました。

記念講演終了後に、次年度ガバナー補佐の裾野ロータリークラブの芹澤豊様のご紹介と挨拶に続き、合同懇親会へ移りました。懇親会では地元の長泉北中学校の吹奏楽部によるアトラクションがあり、楽しく充実したインターシティーミーティングでした。

渡邊富夫ガバナー補佐、大変お疲れ様でした。



2月15日に地区危機管理セミナー

地区危機管理セミナーを2月15日、Zoomで開催いたしました。多くの皆様にご登録いただき、猪狩学地区危機管理委員長が、ロータリー活動に伴う危機管理について解説し、質疑応答を行いました。



2月22日にローターアクト年次大会

ローターアクト年次大会は2月22日、静岡市のグランシップで開催されました。ホストクラブは静岡RACが務めました。

国際ロータリーの2024年10月理事会では、ロータリー創立125周年を祝し、2030年7月1日までにローターアクター125,000人という全世界のローターアクトの会員増強目標を採択しています。国際ロータリーもローターアクトクラブの可能性に期待していることがわかります。地区内には5つ（浜松・静岡・静岡北・島田・甲府南）のローターアクトクラブがありますが、会場では、ローターアクターの皆さんの生き生きとした発表に、当地区のローターアクターの発展の可能性を感じました。



ローターアクトのみなさん、ありがとうございました！

2月23日に富士宮RC創立60周年記念式典

富士宮RC創立60周年記念式典は、ポール・ハリスが4人で最初のロータリークラブをシカゴで始めてちょうど120年目の2025年3月23日、ゲストハウスフォレストヒルズで開催されました。「万里一空」のテーマのもと、素晴らしい式典が開催されました。



素晴らしい式典へご招待くださり、ありがとうございました！

小泉ガバナー杯ゴルフ大会は5月21日

小泉ガバナー杯ゴルフ大会を5月21日（水）に山中湖村の富士ゴルフコースで開催いたします。各クラブへもご案内をさせていただきました。多くの皆様にご参加いただき、新緑の季節を楽しみたいと思います。ぜひご登録ください！



2025～2026年度R I会長メッセージが発表されました

**UNITE
FOR
GOOD**



国際協議会が2月9～13日まで米国フロリダ州オーランドで開かれ、次年度R I会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏がメッセージ“UNITE FOR GOOD”（よいことのために手を取りあおう）を伝えました。稲葉雅之ガバナーエレクトは、2月22日にZoomで開催された第4回地区諮問委員会で国際協議会報告を行いました。

3月1日の地区チーム研修セミナーを皮切りに開かれる、会長エレクトラーニングセミナー、地区研修・協議会など、次年度に向けたセミナーを通して、国際協議会でカマルゴR I会長エレクトより直にメッセージを受け取られた稲葉ガバナーエレクトが、地区の方針とともに次年度についての詳細を伝えられます。